



最高の経験！感動のドイツ 写真で巡る日独交流23日間

ハングルクにあるクライミングの森では樹上に設置してあるはしごや橋、ロープウェーなど様々なアトラクションを思い切り楽しみました。



ベルリンの象徴であるブランデンブルグ門の前で記念撮影！今年は日本とドイツの交流がはじまって150年目の記念の年で、ベルリンの壁が1989年に崩壊し、ドイツの再統一がなされて22年目にあたり、歴史を垣間見ることができました。



バルト海沿岸のブルー・モンキ シンデレラ城のモデルである
ー・ビーチクラブで体験した水 ノイシュヴァンシュタイン城
上スキーは最高に楽しかった。 行く夢がかないました。



シンデレラ城のモデルである
ノイシュヴァンシュタイン城
に行く夢がかないました。



**英語でのディスカッションにチャレンジ!
事前研修で準備ゆόく!**

二〇

ウクスブルクでは、なんとサッカー日本代表で、在FCアウクスブルクに所属している細貝萌選手、私たちに会いに来てくれました。この出来事は元の新聞でも大きく紹介されたんですよ！



日独スポーツ少年団同時交流

君も高校生まで団員を 続けてドイツに行こう

昨年宇美町スポーツ年団では、初めて「日独スポーツ少年団同時交流の受入事業」を行いました。ドイツのバレーボールユーロゲントから指導者一名と団員六名が宇美町を訪れ、誠心館空手道や合気道祥雲塾、体育協会弓道部との武道交流を行つたり、宇美商業高校の華道部や茶道部、また宇美太鼓の方々と文化交流を行いました。

そして今年宇美町スポーツ少年団から団員を派遣し、相互交流が実現しました。誠心館空手道宇美支部に所属している丸山健太さん（高2）が、七月二十日から八月十一日にかけての二十三日間、ハンブルクとアウクスブルクを中心に様々な交流を行つてきました。

日本團がドイツへ出
発する前日、東京のオ
リノピツウセノタード
日本團がドイツへ出
発。フランクフルト
到着後、まず行われ
るのが二泊三日の全本
多メ彩イなン地アフログシラムは

A group of children in a classroom setting, all with their hands raised in the air. A man in a grey blazer and white shirt stands in the foreground on the left, also with his hands raised. The room has large windows and doors in the background. On the right side of the image, there is vertical Japanese text: '翌日、成田空港を出' (The next day, leaving Narita Airport) and '歓迎行事、ド' (Welcome ceremony, D).

ハブルクの幼稚園を訪問し、ダンスや折り紙で遊びました。自分たちの作った折り紙で遊んでいる姿を見ると、とても嬉しくなりました。

するレクチャーや、見学・歓迎パーティー・ランクフルト市によるレセプション等が行われました。

全体前半プログラムが終了すると、グループに分かれて、いよいよ交流事業のメインディッシュである、十六泊十七日の地方ログラムに出発しました。

各グループがドイツの各地に移動して個別のプログラムで活動し私たち九州Iグループは、前半の八日間をドイツ第二の都市「ハンブルク」に、後半の八日間を、日本で言うと京都みたいな古くからある都市「アウクスブルク」に行き、ホストファミリーを中心に心温まる交流を楽しみま



ど ライツ に 派遣 さ れ い の ？

一つ少年団員の皆さん
是非高校生まで団員を
続けて日独交流に申し
込んでみませんか?感
受性豊かな高校生世代
で海外の文化に触れる
ことはかけがえのない
経験になりますよ。

